

【がん薬物療法専門医コース】

授業科目名	血液腫瘍学実習	授業形式	実習
配当年次	1-4年次	選択・必修	必修
単位数	4単位 120時間	曜日・時限	通年随時
担当責任者	南 博信		
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. がん化学療法において先駆的役割を果たした血液腫瘍の治療を担当することにより、抗癌剤治療の原点を学ぶ。 2. 強力な抗癌剤治療に伴う感染症を主体とした副作用対策を実習する。 3. 慢性骨髄性白血病におけるグリーベック、悪性リンパ腫におけるリツキサンなど分子標的治療の方法と成果を学習する 		
授業の概要	演習内容	場所	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腫瘍・血液内科の外来、病棟において多くの癌種の患者を担当し、治療方針の決定過程、治療実施方法、治療実施中、治療後の管理方法について学ぶ。放射線腫瘍医、がん看護専門看護師、がんライフ・サポートチームとの症例検討会に参加し、がん患者の全人格的診療を学習する。 2. 担当症例の治療方針について、がんセンター治療カンファレンスにて議論し、血液腫瘍の治療方針決定方針とその決定に必要な検査所見などを学習する。 3. 日本臨床腫瘍学会認定「がん薬物療法専門医」受験資格として必要とされる病歴要約を完成する。 		
関連科目	共通特論 I、II、III、腫瘍内科学特論		
参考書			
成績評価	病歴要約をレポートとして提出する。病歴要約により成績を評価する。		
備考	(メールアドレス)松岡広: matsuo@md.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー)松岡広: 血液内科学医局 月曜日 12:00~13:00		